

# 第41回 監査役スタッフ全国会議のご案内

## 主 題

### 監査役監査への信頼確保のために —時代が要請する監査役の役割とスタッフの取組—

企業の事業内容は、グローバル化の進展や技術革新の影響により、以前よりも複雑化・多様化すると同時に、その変化のスピードも早まっていることから、企業の開示内容充実への要求が高まり、開示事項は年を追うごとに追加され、具体的な記述が要求される傾向にあります。

監査役等や会計監査人も、監査上の主要な検討事項（KAM）の導入や有価証券報告書における監査役等の監査活動の開示等の記述が追加され、監査活動の内容を具体的に説明することにより、世の中から信頼を得ていかなければならなくなりました。監査役等の監査の内容が世の中から問われているとも言えます。本会議では、どうすれば今の時代の社会から期待されている監査役等の役割を果たし、世の中の信頼を確保していくことができるか、監査役等のスタッフの立場から共に考えていきます。

#### ■ セッションのポイント

##### 基調講演

各界の第一線で活躍されている学識者・専門家・実務家から、主題に即した示唆に富むご講演をいただきます。今回の会議では、同志社大学法学部・大学院法学研究科 教授 川口 恭弘 氏より、情報開示の意義（会社法・金商法上の開示制度）、情報開示規制に関する近年の動向、情報開示に対する監査役等の関与のあり方などについてご解説いただきます。

##### 分科会

1日目及び2日目にそれぞれ4つの分科会をご用意しております。2日間で計2つの異なるテーマの分科会にご参加いただけます。ご関心のある分科会をご選択ください（各分科会とも定員になり次第〆切）。

##### 講演 I

企業の危機管理、不正調査、コンプライアンス態勢構築等を専門とし、社内外の調査委員会業務に多数従事している国広総合法律事務所 パートナー弁護士 中村 克己 氏より、平時に取るべき対策（予防と体制強化）、非常時に取るべき対応（早期決着と二次不祥事の防止）、事後に取るべき施策（ピンチの後にチャンスあり）などについてご講演いただきます。

##### 講演 II

監査人の監査基準の改訂により、金融商品取引法上の監査人の監査報告書において、KAMの記載が義務付けられました。KAMの選定は監査人が行うものの、監査役等には、KAMの取扱いにおいて重要な役割を果たすことが期待されています。KAMの円滑導入に向けて、当協会会計委員会委員である日本電気㈱ 監査役 川島 勇 氏より、監査役等としての対応についてご講演いただきます。

**日 程** 1日目 2019年9月19日（木）13：00～18：10（18：30～20：00 参加者交流会）

2日目 2019年9月20日（金） 9：00～16：20

**会 場** アクトシティ浜松

〒430 - 7733 静岡県浜松市中区板屋町111 - 1 TEL 053 - 451 - 1111

**参加費** 【会議のみ参加】1名につき25,700円※1

【会議・参加者交流会とも参加】1名につき36,000円※2

※1 1日目・2日目の会議・資料代、2日目の昼食代、消費税を含む。

※2 1日目・2日目の会議・資料代、1日目の参加者交流会代、2日目の昼食代、消費税を含む。

公益社団法人 日本監査役協会

Japan Audit & Supervisory Board Members Association

13:00~13:10	<p><b>会長挨拶</b> 日本監査役協会会長 岡田 譲 治</p>
13:10~13:20	<p><b>企画委員長挨拶</b> 監査役スタッフ全国会議企画委員会委員長 野口 能 弘</p>
13:20~14:50	<p><b>基調講演</b>  <b>「情報開示の進展と監査役役割」</b>          &lt;講師&gt; 同志社大学法学部・大学院法学研究科 教授 川口 恭 弘</p>
14:50~15:10	<p>休憩</p>
15:10~18:10	<p><b>分科会</b> (各分科会とも、適宜休憩あり)</p> <p><b>第1分科会「監査役スタッフ業務の概要と基礎知識」</b>          [対象] 主に新任または経験2年までの方          [方式] 講義</p> <p>&lt;報告者&gt; 本部監査役スタッフ研究会メンバー、          SOMPOホールディングス(株) 福澤 信 吾</p> <p>&lt;報告者&gt; 本部監査役スタッフ研究会メンバー、          (株)ファミリーマート 権平 健 男</p> <p>&lt;報告者&gt; 本部監査役スタッフ研究会メンバー、          PHCホールディングス(株) 土屋 秀 樹</p> <p><b>第2分科会「企業集団における親会社監査役等の活動」</b>          [対象] 全員          [方式] 論点解説+グループ討議</p> <p>&lt;報告者&gt; 関西支部監査役スタッフ研究会幹事、          (株)船井総研ホールディングス 貴島 康一郎</p> <p>&lt;報告者&gt; 関西支部監査役スタッフ研究会メンバー、監査役スタッフ実務第1部会幹事、          三ツ星ベルト(株) 中川 伸 夫</p> <p><b>第3分科会「三様監査の連携(社外取締役との連携を含む)」</b>          [対象] 全員          [方式] 論点解説+グループ討議</p> <p>&lt;報告者&gt; 大陽日酸(株) 秋山 豊          &lt;報告者&gt; (株)リコー 田中 重光</p> <p><b>第4分科会「監査等委員会の運営実務について」</b>          [対象] 監査等委員会設置会社の方、監査等委員会設置会社へ移行予定又は移行を検討している会社の方          [方式] 論点解説+グループ討議</p> <p>&lt;報告者&gt; 三菱重工業(株) 野口 能 弘          &lt;報告者&gt; (株)安川電機 武富 保 生</p>
18:10~18:30	<p>休憩</p>
18:30~20:00	<p><b>参加者交流会</b></p>

## <2日目>9月20日(金)

※2日目分科会は、1日目分科会と同内容です(1日目と異なる分科会をご選択ください)。

9:00~12:00	<p><b>分科会</b> (各分科会とも、適宜休憩あり)</p> <p><b>分科会A「監査役スタッフ業務の概要と基礎知識」</b> [対象] 主に新任または経験2年までの方 [方式] 講義</p> <p>&lt;報告者&gt; 本部監査役スタッフ研究会メンバー、 SOMPOホールディングス(株) 福澤 信吾</p> <p>&lt;報告者&gt; 本部監査役スタッフ研究会メンバー、 (株)ファミリーマート 権平 健男</p> <p>&lt;報告者&gt; 本部監査役スタッフ研究会メンバー、 PHCホールディングス(株) 土屋 秀樹</p> <p><b>分科会B「企業集団における親会社監査役等の活動」</b> [対象] 全員 [方式] 論点解説+グループ討議</p> <p>&lt;報告者&gt; 関西支部監査役スタッフ研究会幹事、 (株)船井総研ホールディングス 貴島 康一郎</p> <p>&lt;報告者&gt; 関西支部監査役スタッフ実務第1部会幹事、 大建工業(株) 牧井 道治</p> <p><b>分科会C「三様監査の連携(社外取締役との連携を含む)」</b> [対象] 全員 [方式] 論点解説+グループ討議</p> <p>&lt;報告者&gt; 大陽日酸(株) 秋山 豊 &lt;報告者&gt; (株)リコー 田中 重光</p> <p><b>分科会D「監査等委員会の運営実務について」</b> [対象] 監査等委員会設置会社の方、監査等委員会設置会社へ移行予定又は移行を検討している会社の方 [方式] 論点解説+グループ討議</p> <p>&lt;報告者&gt; 三菱重工業(株) 野口 能弘 &lt;報告者&gt; (株)安川電機 武富 保生</p>
12:00~13:00	昼食(各分科会会場にて)・休憩
13:00~14:30	<p><b>講演I</b> 「事例から学ぶ企業不祥事対応～平時の対策から事後対応まで～」 &lt;講師&gt; 国広総合法律事務所 パートナー弁護士 中村 克己</p>
14:30~14:50	休憩
14:50~16:20	<p><b>講演II</b> 「監査上の主要な検討事項(KAM)の導入に伴う監査役等の対応 ～日本監査役協会『KAMに関するQ&amp;A集・前編』の解説を中心として～」 &lt;講師&gt; 当協会会計委員会委員、日本電気(株) 監査役 川島 勇</p>

## <講師略歴>

### 川口 恭弘（かわぐち・やすひろ）

同志社大学法学部・大学院法学研究科 教授

神戸大学法学部卒業

愛媛大学助教授・神戸学院大学教授を経て、現職

法学博士（神戸大学）

金融庁・金融審議会委員

主要著書：『金融商品取引法への誘い』〔単著〕（有斐閣）、『新・日本の会社法』〔共著・河本一郎＝川口恭弘〕（商事法務）、『現代の金融機関と法（第5版）』〔単著〕（中央経済社）、『金融商品取引法』〔共著・神崎克郎＝志谷匡史＝川口恭弘〕（青林書院）など

### 中村 克己（なかむら・かつみ）

弁護士、公認不正検査士。兵庫県出身。1993年、東京大学法学部卒、全日本空輸株式会社入社。2006年10月、国広総合法律事務所入所。2012年1月、同事務所パートナー就任。

企業の危機管理、不正調査、コンプライアンス態勢構築等を専門とし、「『すき家』の労働環境改善に関する第三者委員会」、「株式会社商工組合中央金庫 危機対応業務にかかる第三者委員会」等、社内外の調査委員会業務に多数従事。

### 川島 勇（かわしま・いさむ）

1981年日本電気(株)入社。2009年経理部長、2010年経理部長 兼 財務内部統制推進部長、2011年取締役 兼 経理部長 兼 財務内部統制推進部長、2011年取締役 執行役員 兼 CFO、2015年取締役 執行役員常務 兼 CFO、2017年代表取締役 執行役員常務 兼 CFO、2018年監査役に就任。現在に至る。日本監査役協会 会計委員会委員。

## ＜分科会の概要＞

分科会は1日目と2日目、計2回行われます。1日目分科会と2日目分科会は同内容です。両日を通じて計2つの異なる分科会にご参加いただきます。

【お申込に際してのご注意】

- \* 各分科会とも、会場の都合上、定員があります。お申し込みは「先着順」にてお受けし、定員に達し次第、締め切らせて頂きます。
- \* ご参加の分科会は、申込締切日（8月30日（金）、後掲参照）24時時点の状況をもって確定します。分科会確定後の変更は受け付けておりませんので予めご了承ください。
- \* 分科会のキャンセル待ちは行っておりません。なお、定員に達した後でも、キャンセル等により定員に空きが生じた場合、システム上、お申し込みの受付が可能な状態となります。適宜「マイページ」にて状況をご確認いただきますようお願いいたします。
- \* 申込締切日（8/30）以前であれば、一度お申し込みした分科会を変更することができます。ご自身の「マイページ」に入ってください、「セミナー」→「全国会議」→「ご自身の参加申込全国会議」の中から、「第41回監査役スタッフ全国会議」をクリックしていただくと「受講申込情報」画面に入りますので、その画面からお手続き下さい（定員に達した分科会には「満席」表示されます）。
- \* グループ討議を行う分科会のグループは、6～8名程度で編成します（当日発表）。

### 第1分科会／分科会A「監査役スタッフ業務の概要と基礎知識」

- \* 主に新任または経験2年までのスタッフの方を対象とした講義方式の分科会です。
- \* 昨年の内容と一部重複します。予めご了承ください。

講義では、本部監査役スタッフ研究会メンバーより、通年の監査役監査及び監査役スタッフ業務の概要、更には監査役スタッフとして兼ね備えておくべき基本的な知識について解説します。

また、同研究会報告書「『新オレンジ本』から読み解く監査役スタッフ業務の再整理（前編／後編）」（「後編」は7月下旬当協会ホームページに公表。「前編」は当分科会参加者のみに配付、「後編」は全ての会議参加者に配付します）から、「具体的な事例や実践」、「事例や実践に関する考察」等について適宜紹介します。

### 第2分科会／分科会B「企業集団における親会社監査役等の活動」

これまでも企業集団の監査の在り方に関する議論は盛んに行われ、各企業では内部統制の構築・運用の強化を図ってきているものの、企業不祥事は依然として後を絶たず、監査役等の責任を問う声も厳しさを増しています。

当分科会では、昨今の子会社における不祥事なども踏まえ、より実務的な親会社監査役等の活動のあり方について考察します。

まず、論点解説として、現在作成中の関西支部監査役スタッフ研究会報告書「企業集団のガバナンスにおける親会社監査役役割と責任について—子会社の不祥事防止に向けた監査活動とは—（仮題）」（2020年1月公表予定）から関連ポイントについて解説を行います。

続くグループ討議では、「ディスカッションポイント（例）」を参考に、親会社監査役等の子会社往査、子会社監査役等との連携、子会社における監査役等の体制、内部通報制度の活用等について、幅広く意見・情報交換を行います。

### 第3分科会／分科会C「三様監査の連携（社外取締役との連携を含む）」

監査役等監査、会計監査人監査、内部監査部門による監査は、一般に「三様監査」とも総称されます。これらは、それぞれその目的や対象を異にする一方、業務執行から独立した立場で監査を行う点で共通しており、これらが相互に連携を図ることは、コーポレート・ガバナンスの充実を図る上で有効な手段とな

ります。

当分科会では、同じく業務執行から独立の立場にある社外取締役と監査役等との連携の論点を含めて、各社の実務について共有を図ると共に、幅広く意見・情報交換を行います。

まず、論点解説では、国内外で事業展開する2社（大陽日酸、リコー）より、豊富なスタッフ経験から培ったノウハウや工夫を交えて、実効的かつ効率的な連携の諸施策など、取組状況を報告します。

続くグループ討議では、「ディスカッションポイント（例）」を参考に、監査役等と内部監査部門等、会計監査人、社外取締役との連携の目的・内容・実施方法等のほか、監査役等・内部監査部門等・会計監査人の三者間の連携の論点などについて、参加各位による意見・情報交換を行います。

#### 第4分科会／分科会D「監査等委員会の運営実務について」

- \* すでに監査等委員会設置会社に移行済みの会社の方に加えて、監査等委員会設置会社へ移行予定の会社の方や、今後の移行について検討している会社の方にご参加いただけます。
- \* 監査等委員会に未移行の会社の方にもグループ討議に加わっていただきますが、“移行後の実務”に関しては自社の説明はできませんので、移行済みの会社の方の説明を聞いたり、適宜質問する等、お願いします（グループ編成は移行済みの会社と未移行の会社の混成とします）。

2015年5月1日施行の2014年会社法改正により新たな機関設計として導入された監査等委員会設置会社制度は、現在までに、約1000社が採用するに至っています。上場企業の約4社に1社が採用する状況にある中、その運用の在り方は、我が国のコーポレート・ガバナンスを左右するといっても過言ではありません。

当分科会では、制度の運用開始から4年が経過した現在、これまでの実務の経験や蓄積を踏まえ、監査等委員会をより実効的に運用していくための実務上の論点や課題、移行にあたっての留意点などについて討議を行います。

まず、論点解説では、共に2015年6月総会をもって監査等委員会設置会社に移行した2社（三菱重工業、安川電機）より、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社への移行の前後を通じて実務に携わってきた経験を有する野口能弘氏および武富保生氏が講師として登壇し、それぞれの取組状況を報告します。

続くグループ討議では、「ディスカッションポイント（例）」を参考に、取締役会および監査等委員会の各運営状況、取締役の職務執行状況の監査、社外監査等委員の監査活動、内部監査部門との連携、監査等委員の「監査等委員でない取締役の指名・報酬に関する株主総会での意見陳述権」等の論点について、参加各位による意見・情報交換を行います。

#### <申込方法>

- ご自身の「会員マイページ」にログインしていただき、「会合」ページ → 「研修会・全国会議」ページ内の「第41回 監査役スタッフ全国会議」よりお手続きください。
- **お申込締切日は8月30日（金）**です。
- お申込をされた方には、**「参加票」を印刷出力していただき、会議当日、会場受付にご提出ください。**
- 参加費のご請求につきましては、会社宛て請求の場合、9月末締めで一括して請求書を発行し、10月中に貴社の議決権行使者（当協会に代表として登録されている監査役等）宛に送付いたします。なお、請求書の送付先をご自身宛にしたい場合や会社宛て請求ではなく個人払い等その他の請求方法をご希望の場合は、参加登録画面の「請求先」入力の際、入力画面に従って請求先をご指定ください。
- **【会議参加のお取消し及びお申込内容のご変更について】**  
ご自身の「マイページ」よりお手続きいただけます。ご自身のマイページに入っていただき、「セミナー」 → 「全国会議」 → 「ご自身の参加申込全国会議」の中から、「第41回監査役スタッフ全国会議」をクリックしていただくと「受講申込情報」画面に入りますので、その画面からお手続き下さい。**9月5日（木）**までに会議参加を取り消された場合は、参加費用は発生いたしません。9月6日（金）以降のお取消しにつきましては、参加費用全額をご請求申し上げますので予めご了承ください。

## <交通および宿泊の手配について>

会場までの交通旅券および宿泊等の手配は、各自(各社)負担にてご自身で行って下さい。  
なお、ホテル宿泊の手配については、(株)JTBがお手伝いをいたします。ご希望の方は「第41回 監査役スタッフ全国会議」ページ内の「添付資料」欄に「宿泊申込書」等を掲載しておりますのでご自由にお申込みください(当協会では取り扱っておりません)。

### 第41回 監査役スタッフ全国会議 企画委員会

委員長	野口能弘	三菱重工業(株)
	平林征則	エーザイ(株)
	根岸司	(株)電通国際情報サービス
	大津正也	FWD富士生命保険(株)
	猪早明彦	関西電力(株) 2019年6月末迄
	橋本光明	日本ガイシ(株)
	森山敦文	九州電力(株)

(順不同・敬称略)

### 会議に関する問い合わせ先

公益社団法人 日本監査役協会 本部事務局  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1 丸の内中央ビル13階  
電話 03-5219-6125 ホームページアドレス <http://www.kansa.or.jp>